



当社展示ブース

## 気象技術世界博覧会(MTWE)2019に出展

6月5日から7日まで、気象技術世界博覧会(MTWE)がスイスのジュネーブで開催され、当社ゾンデの歴史の紹介と以下の高層気象観測装置を出展しました。

- ①世界トップクラスの小型軽量GPSラジオゾンデIMS-100
- ②自由落下による観測が可能なドロップゾンデIMDS-17
- ③雲粒子および氷晶粒子を直接撮影するHYVIS
- ④雲粒子センサーCPS
- ⑤高層用気温基準センサーMTR
- ⑥今年度リリース予定の水蒸気量測定センサーSKYDEW

これらゾンデ・特殊センサーに興味を持つ各国気象局観測従事者や研究所関係者、世界気象機関(WMO)関係者が当社ブースを訪れ、活発な情報交換の場となりました。

明星電気はこれまでの経験・ノウハウを生かした先進的な製品を提供し、気象観測・地球環境モニター・気候変動対策に貢献していきます。

(担当: 気象防災事業部)



当社展示ブース

## 第32回宇宙技術および科学の国際シンポジウムに出展

6月15日から19日まで、「第32回宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)」が福井県で開催され、衛星搭載機器などを出展しました。ISTSは、2年に1度開催される国内最大の宇宙国際会議で、研究者や技術者が研究発表をおこなうだけでなく、一般の方もトークイベントに参加できるシンポジウムです。

当社は、JEM自律移動型船内カメラInt-Ballと小惑星探査機「はやぶさ2」に搭載され活躍した近赤外分光計NIRS3・分離カメラDCAM3の実物大模型を展示しました。当日は幅広い世代の方々がブースを訪れ、これらが注目を集めました。

これからも当社の技術力をアピールし、世界市場におけるシェア拡大を目指して活動していきます。

※JEM: 国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟

(担当: 宇宙防衛事業部)



IHIグループブース内の当社スペース

## 建設技術公開EE東北'19に出展

6月5日、6日の2日間、「建設技術公開EE東北'19」が仙台市の夢メッセみやぎで開催され、当社はIHIグループの一員として、超高密度気象観測・情報提供サービスPOTEKAと緊急地震速報受信ユニットS740-Pを出展しました。

建設現場の生産性を向上させる取り組みである「i-Construction」の中核となるICT技術などを、「設計・施工」「維持管理・予防保全」「建設副産物・リサイクル」「防災・安全」「その他共通」の5つの技術分野に区分し、891の建設技術が集結したこの展示会は過去最高の16,500人が来場しました。IHIグループブースにも多数の来場者があり、各製品に対して貴重なご意見をいただきました。

明星電気は、さまざまな場面で活用される機器の開発を通して、皆さまの生活に貢献していきます。

(担当: 気象防災事業部、東北支店)

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。